

詩ってむずい？

滋賀大学詩作ワークショップ☆詩人と一緒に詩を書こう

2022年8月4日(木)

集合時間: 8:50  大学  彦根港  多景島  彦根港  大学

場所: 滋賀大学 (彦根キャンパス)

対象者: 小学5年生から高校3年生まで

定員: 16名 (抽選)

参加費: 無料

申込み/問合せ: 裏面の専用サイトへ

ひらめき☆ときめき



詩ってなんだろう？

感じたことを言葉にしよう

声に出して詩を読もう

今日の君は大学生☆
とびきりの一日を
体験しよう

©滋賀大学
カモンちゃん

経済学部ワークショップReD#ensemble共催
JSPS 科研費 JP22HT0103助成事業

小・中・高校生のための
プログラム



夏休み校外学習

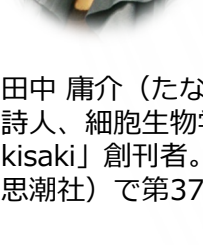
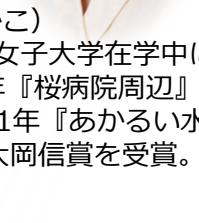
KAKENHI

研究機関名：	滋賀大学（住所：彦根市馬場1-1-1）
プログラム名：	詩ってむずい？～詩人と一緒に詩を書いて朗読会をひらいてみよう～
先生：	経済学部教授 菊地利奈
集合場所：	彦根キャンパス（ https://www.econ.shiga-u.ac.jp/12/ ）土魂商才館
集合時間：	2022年8月4日（木）8:50
問合せ：	滋賀大学経済経営研究所 TEL：0749-27-1047 FAX：0749-27-1397 ✉ ebr@biwako.shiga-u.ac.jp

	申込み方法：（どちらかを選択） (A) 「ひらめき☆ときめきサイエンス」のURL： https://www.jsps.go.jp/hirameki/02_jisshi_program.html にアクセスし、参加申込フォームに入力する。 (B) ebr@biwako.shiga-u.ac.jp 宛に以下の項目をメールする。 締切日については（A）のサイトで確認すること。 ① 氏名（フリガナ） ② 在学する学校名、学年 ③ 生年月日（1日傷害保険に加入のため） ④ 連絡先住所（郵便番号も） ⑤ TEL（日中の連絡先） ⑥ E-mail（必ずパソコンからのメールを受信できるように設定しておく） ⑦ 保護者からの参加同意（受講には保護者の同意が必要） ⑧ 応募するにあたって知りたいことがあれば。（食物アレルギーがある方は、内容を記す） ※当プログラムでは、保護者・学校関係者による見学はご遠慮いただいています。	
--	---	---

申込みにあたって：	➤ サイト内にある「申込方法」「保護者の方へ」「プログラム概要」を読んで、内容をご理解いただいたものとして運営します。なお、登録をお願いした個人情報は本企画の運営にのみ使用し、終了後は削除します。 ➤ 船は貸切です。びわ湖クルーズに出る行程のため、移動の多い1日となります。安全な行動がとれるようみんなで協力していきましょう。
-----------	---

08:50	彦根キャンパスに集合	12:20-12:40	キャンパスまで歩く（約15分）
08:50-09:00	受付	12:40-13:35	ランチと講義④
09:00-09:40	開会式と講義①	13:35-15:40	実習③（おやつ休憩と質問タイムあり）
09:50-10:20	彦根港まで歩く（約15分）	15:40-17:00	実習④自作朗読発表会
10:20-10:40	乗船-多景島へ出発…講義②	17:00-17:20	修了式
10:40-11:20	多景島滞在…実習①	17:20	解散
11:20-12:20	乗船-沖の白石経由-彦根港へ戻る …講義③と実習②		

	川口 晴美（かわぐち・はるみ） 福井県小浜市出身、東京在住。1985年に最初の詩集『水姫』を刊行。詩集『半島の地図』（2009年、第10回山本健吉文学賞）、『Tiger is here.』（2015年、第46回高見順賞）。最新詩集は『やがて魔女の森になる』（2021年）。	
	田中 庸介（たなか・ようすけ） 詩人、細胞生物学者。東京生まれ。詩誌「妃 kisaki」創刊者。『ぴんくの砂袋』（2021年、思潮社）で第37回詩歌文学館賞受賞。	

岬 多可子（みさき・たかこ）
千葉県生まれ。お茶の水女子大学在学中に詩作をはじめ。2007年『桜病院周辺』で第37回高見順賞、2021年『あかるい水になるように』で第2回大岡信賞を受賞。